

ライトプラス

第4種踏切における『踏切ゲート-Lite+』の開発および展開について

JR西日本中国統括本部では、リスクの高い第4種踏切の安全対策として、踏切ゲートおよび踏切ゲート-Liteの設置を進めてきました。このたび、踏切ゲート-Liteを小型特殊自動車が行き通れるよう改良して通行対象を拡大した『踏切ゲート-Lite+』を開発しました。今後、準備出来次第、設置を進めてまいります。

1. 踏切ゲート-Lite+のねらい

第4種踏切において、通行者に一旦停止、左右確認を促し、直前横断による踏切障害事故を防ぐこと。

踏切ゲート-Liteを小型特殊自動車が行き通れるよう改良して、高い施工性やコスト面での優位性を持ちつつ、踏切ゲートと同等の効果が得られることにより安全対策の迅速化を図ること。

2. 踏切ゲート-Lite+の主な特徴

〈常時遮断式〉 通行者の踏切横断時のみ開閉

〈半自動式〉 遮断桿の操作後は自動的に元位置に戻る

〈通行方法〉 水平方向に押し開けるまたは垂直方向に持ち上げるにより通行

※線路側に向かって水平方向に押し開ける時は斜め上に開く

〈設置位置・形状〉 踏切一旦停止線付近に設置



既設置箇所（宇部線 下野踏切）

3. 導入計画

2025年度に50踏切程度に設置できるよう、道路管理者および地元関係者との協議を進めていく。

表. 各都道府県別の整備予定数

(単位：箇所)

種別	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
踏切ゲート-Lite+	2(0)	7(0)	14(0)	3(0)	25(1)
踏切ゲート-Lite	2(2)	10(9)	29(29)	12(11)	37(27)
踏切ゲート	2(2)	2(2)	13(13)	3(3)	26(25)

※()内は2024年度末までの実績

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に8番、9番、11番、に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

